



可也コミュニティセンター

# しまてらす

2022年7月1日発行

糸島市志摩初 18番地 3

TEL/FAX 092-327-1734

E-mail : kaya.k@city.itoshima.lg.jp

No.28号

## 3年ぶりに開催！！盛り上がりました！！

# お天気にもまれたグラウンドゴルフ大会

6月19日(日) 三世代交流グラウンドゴルフ大会

志摩中央公園で振興協議会主催「三世代交流グラウンドゴルフ大会」が開催されました。参加チームは8行政区9チーム72名の参加者が元気いっぱいプレーを楽しみました。前日から準備していただいたグラウンドゴルフ協会のみなさんをはじめ、体育委員さん、参加の皆さん、応援の皆さん、暑いなかお疲れさまでした！！

優勝 稲葉Bチーム



防災メール  
まもる君



可也コミュニ  
ティセンター

## グラウンドゴルフ大会結果発表！

### 団体の部★

- 《優勝》稲葉B
- 《準優勝》大浦台
- 《3位》師吉団地



### ★個人の部

- 《優勝》永易 健二さん
- 《準優勝》茂木 金秋さん
- 《3位》岡部美代子さん

### 《男厨倶楽部》

新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により開催ができなかったコミュニティセンター主催講座「男厨倶楽部」が3年ぶりに開催されました。

第1回目の講座は、高崎ほいらさんを講師にお迎えしてインドネシア料理に挑戦！聞きなれない料理でしたが、皆さん手際がよく予定の時間内に完成！久しぶりに皆さんで美味しく頂きました。本年度講座生8名でスタートしました。興味のある方、講座に参加してみませんか。7月は韓国料理、8月はそば打ち体験を計画しています。

調理の様子



完成した料理



### 《アクティブシニア教室》

本年度より「アクティブシニア教室」と名前を改めた高齢者現代セミナー。第1回目は、昨年『タオル楽々体操』で好評だった、ハッピー体操指導者の東原宏美さんを講師にお迎えして『トイレ安心体操』を開催します。内容は腹圧を鍛える為の呼吸法や骨盤について学習します。どなたでも気軽に参加できる講座です。皆さんの参加お待ちしております。

月 日：7月13日(水)

時 間：13:30~15:00

内 容：トイレ安心体操

定 員：10名程度

持参品：動きやすい服装

飲料水

タオル(運動に使用するので長めのタオル)



問い合わせは 可也コミュニティセンターまで ☎327-1734

## 7月は同和問題啓発強調月間です。

福岡県は昭和56年度から毎年7月を「同和問題啓発強調月間」と定めています。



## 7月の行事予定



2日(土)	10:00	かやっこアンビシャス
5日(火)	19:00	区長会
8日(金)	10:00	ダーツクラブ kaya
9日(土)	11:20	街頭啓発活動
9日(土)	14:00	人権講演会
12日(火)	10:00	初心者向け運動講座
13日(水)	13:30	アクティブシニア教室
15日(金)	10:00	デジタル講座
16日(土)	10:00	かやっこアンビシャス
20日(水)	10:00	男厨倶楽部
21日(木)	10:00	可也未来塾
21日(木)	19:00	ふれあい文化委員会
22日(金)	10:00	デジタル講座
23日(日)	9:30	しま歴史倶楽部(立石山)
26日(火)	10:00	初心者向け運動講座
27日(水)	13:30	かしまし学級

★行事予定は変更になる場合があります

## マスク着用と熱中症予防

感染症対策として、マスク着用はとても重要です。熱中症のリスクが高まる季節だからこそ、場面に応じてマスクの着脱を使い分けましょう！



### マスクを外していい場面っていつ？

#### ○屋外

- ランニングなど、他者との距離が2m以上確保できる場合
- 徒歩での通勤等、人とすれ違うことはあっても会話はほとんどない場合

#### ○屋内

- 他者との距離が2m以上確保でき、会話がほとんどない場合

出典：厚生労働省HP「マスクの着用について」より

熱中症予防には、こまめな水分補給や十分な睡眠、3食食べるといった生活リズムを整えることも大切です！

2m以上



問い合わせ先：糸島市健康づくり課 ☎332-2069

## 灯台下暗し No27

子どもたちの自主性を育てながら

～しま歴史倶楽部の活動～



福岡県青少年アンビシャス運動は「豊かな心、幅広い視野、それぞれの志を持つ(アンビシャスな)たくましい青少年の育成」をめざす県民運動です。この運動事業のひとつが、アンビシャス広場です。糸島市内にある15コミュニティセンター中、唯一参加しているのは可也コミュニティセンターだけで、今年で19年目に入りました。

アンビシャス広場の活動の中でも、今回紹介するのは「しま歴史倶楽部」です。3年間「しま歴史探検隊」として活動してきた先輩のお兄さん、お姉さんを中心に、本年度新たに「しま歴史倶楽部」として発足しました。小学3年生から中学1年生までが対象で、しまの歴史や地域の宝を見つける活動をします。今年は火山の登頂記念木札作りと「火山の瑠璃光」のミニ絵本作りに取り組んでいます。活動する中で、「しまの寺子屋」(大人の学びのサークル)のスタッフの指導を受けながら、司会、進行、活動記録に至るまですべて子どもたちの手によって運営されています。また、木札作りでは、保護者の方々も手伝ってくださっています。

今回令和4年度メンバー募集のチラシ作りでは、タブレットを駆使し、レイアウトから、紙の選定、内容に至るまで、子どもたちだけで作成したのは驚きました！調べたことを伝える手法、プレゼンテーション能力、言葉でまとめる力を育てるといった成果が見事に発揮されているなあと感じました。そのチラシの成果もあって、今年度新たに10数名の新規メンバーが参加します。新メンバーも、先輩のお兄さん、お姉さんたちと活動しながら、今時多い指示待ちの子どもではなく、自分の目で、足で、頭で、確かめる、考える、調べる、子どもたちに育てて欲しいなあと思います。

地域の皆さん！もし「しま歴史倶楽部」の子どもたちの活動を見かけたらどうぞ温かくご支援ください。そんな子どもたちこそ志摩の宝、地域の宝です。(塩田)



## わがまち自画自賛

昭和49年7月旧志摩町開発公社によって志摩町大字師吉字大浦に大石団地として宅地造成されました。約100戸分の宅地が分譲開始され、その後の民間宅地開発分と併せ130区画程の集落となりました。

可也山の麓の緩やかな東北向きの傾斜地にあり、何の取り柄とてなく、専用水道設備があるだけで道路は砂利道、公園・広場も無い、当時は家まわりで常会を開いてありました。

昭和52年4月に師吉区から分離独立、区名を公募し大浦台と決定しました。その時の個数は60戸でした。出身地はバラバラで地縁的に繋がりの無かった新しい住民達、若い子育て世代が多く、勢いがありました。運動会、夏祭り、どんと焼き等の行事を実施し、地域の絆を深めていきました。

当初より要望されていた集会所は設計計画より先んじて、共有財産基金の積立として、昭和57年より開始されるという熱の入れようでした。5年6ヶ月の積立を成しとげ満額終了。昭和62年12月大浦台集会所は落成しました。ここではサークル・教室が思い思いに設立され、更に催事では文化祭、芸能祭、発表会等も盛んに行われました。

しかしながら、職住分離の住宅地の宿命、住民の入れ替わりは少なく、若い人達が進学、就職、結婚、独立と親元を離れていき、残された者たちは、少子高齢化へ、延いては役員不足へとなす術もなく困る事になりました。

しかし近年の糸島ブームの影響でしょうか、令和に入ってから10軒程の新築入居者があり、空地は5区画になりました。更に高齢化率も高止まりで一段落。寄り合い所帯だからこそ一辺倒でなく、役員負担軽減をはかりつつ、緩やかな思いやりのある隣組となる事を祈念します。

(令和8年は区制50周年になります。)

大浦台行政区区長 吉村 忠

